



文化財マップ

浮島・青木・江上校区の

☎0942-34-4995 FAX.0942-34-5045 (表紙)法林寺宝篋印塔(県指定)

編集:文化観光部文化財保護課
発行:久留米市
平成23年3月31日
の文化財マップ
下田・青木・江上校区

《文化財に関するお問い合わせ先》
久留米市文化観光部 文化財保護課
久留米市城南町15番地3(市役所16階)
☎0942-30-9225 FAX.0942-30-9718
E-mail:bunkazaka@city.kurume.fukuoka.jp
久留米市諏訪野町1830-6(スーパード敷地内)
☎0942-34-4995 FAX.0942-34-5045



市内の遺跡から出土した土器や石器・金属器などの遺物をはしめ、発掘調査や整理作業の際に作成した図面・写真などの記録類を収蔵・整理・研究するための施設です。
当センターでは、資料の貸出しや閲覧、文化財に関するご相談にも応じています。また、毎年秋には「考古資料展」を開催し、収蔵資料の公開を行っています。ふるさとの歴史に関心をお持ちの皆さん、ぜひお越しください。お待ちしております。

開館時間:午前9時~午後5時
休館日:土日・祝祭日・年末年始
入館料:無料



久留米市埋蔵文化財センターのご案内

■浮島・青木・江上校区の文化財■

城島は古代「筑紫瀧」と呼ばれた有明海の中で、筑後川の沖積作用によって形成された広大な干潟の湿原に人々に移り住み、度重なる洪水や高潮によって流出・埋没を繰り返してきたといわれています。これを物語るように、入江を連想させる「江上」や、海岸や川岸に育つ柳・榊・松などの若木の繁茂しているところを意味する「青木」の地名があります。弥生時代の遺跡の多くは、江上・青木地区に確認されており、海岸沿いに集落が存在していたことが窺えます。代表的な遺跡として、青木天満宮東側にある「上青木北大門遺跡」があります。この遺跡から南に伸びて、下青木の「下青木遺跡」や「能保里貝塚」、江上の「筒江遺跡」などへとつながっています。

城島町内には古墳などの存在は確認されていませんが、「山ノ下遺跡」は、堀端や水田に巨石が数個散在しているといわれており、古墳が近くにあった可能性があります。付近では須恵器や土師器、直刀や唐銭などが出土したといわれています。

平安時代中頃に編纂された『和名抄』の中の筑後国に記載された三潞郡に「管綜郷」という郷名があります。現在の「江上」一帯を示すといわれていますが、「綜」が機織の道具の名前であることから、一帯に機織を使用する織女集団が居住していたのではないかとする説もあります。技術を持つ人々が、有明海を渡って来たのでしょうか。

律令制度が崩壊し荘園制が始まると、一帯は「三潞庄」と「青木庄」に含まれます。青木庄は安楽寺(太宰府天満宮)領になります。安楽寺は海外貿易を行っていた、記録には残っていませんが、青木庄も有明海沿岸に着岸する宗船と私的に貿易を行っていたかもしれません。

戦国時代には諸豪族は肥前龍造寺氏や豊後大友氏の傘下に入り従っていました。城島町内には城島城・江上城・下田城が築かれました。字名に「屋敷」と名の付くものも多くみえ、まだ確認されていない屋敷の発見が期待されています。

関ヶ原の戦い後、九州の西軍討伐でおこった鍋島・立花両軍の戦いは、筑後では「江上表の戦い」・「八院合戦」とよばれています。激戦が展開されたと伝えられており、この時の多数の戦死者・負傷者を埋葬したと伝えられている「江上上経塚跡」や江上本にある「揚田地蔵」(ほ場整備で移築)など、関連する史跡が残されています。

江戸時代、田中吉政は積極的に新田の開墾を行いました。筑後川流域の大規模開墾の一つに浮島の葭野開きがあります。菊池左衛門(のち惣右衛門)によって開拓され、当初は「有喜島」と名付けられました。有馬氏の時代に「浮島」の村名を頂いています。浮島の開拓に関する資料などは菊池家に大切に保管されています。

■こんなにあるぞ!! 浮島・青木・江上校区の文化財■

No.	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1	浮島・厳島神社の石造狛犬	江戸時代	楼門に肥前狛犬が安置されています。境内は他に板碑などもあります。
2	菊池家文書	近世	寛文9年(1669)から慶応2年(1866)までの、浮島の開発に関する文書などが伝えられています。
3	江島・坂本神社の石碑	江戸時代	境内に猿田彦石碑、大神宮石碑があります。
4	青木島神社・「江頭さん」	江戸時代	青木島神社の境内にある石造物で、地元では「江頭さん」と呼ばれ親しまれている、弁財天の石造です。
5	四郎丸・坂本神社板碑群	江戸時代	神社境内に4基の板碑があります。
6	四郎丸遺跡	中世	土師器・陶磁器などが散布しています。
7	苔梅庵寺跡	安土・桃山時代	上青木老松宮司累代の墓所があり、経石などが多数埋まっていたといわれています。
8	上青木北大門遺跡	弥生時代	弥生土器や須恵器などの他、木製品や種実、獣骨などの自然遺物が多数出土しました。
9	宮開宝篋印塔	南北朝時代	上青木の天満宮境内にその一部があります。上青木老松宮司累代の墓から移動したものとされています。
10	宮開遺跡	弥生~	弥生土器などが多数散布しています。
11	下青木遺跡	弥生時代	弥生土器が多数散布しています。集落跡思われています。
12	能保里貝塚	弥生時代	弥生土器・牡蠣殻が多数散布しています。
13	法林寺遺跡	弥生・中世	弥生土器・陶磁器などが散布しています。
14	能保里遺跡	弥生時代	弥生土器・黒曜石片などが散布しています。
16	江上上経塚跡	江戸時代	江上・八院合戦の決戦場跡で、両軍の戦死者を弔う為に法華経を埋めたといわれています。
17	原中牟田遺跡A	中世	土師器などが散布しています。
18	原中牟田遺跡B	中世	土師器などが散布しています。